

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2005-64872 (P2005-64872A)
【公開日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)
【年通号数】公開・登録公報 2005-010
【出願番号】特願 2003-292670 (P2003-292670)
【国際特許分類】

H 0 4 B 1/707 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 13/00 D

H 0 4 B 7/26 1 0 9 N

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 3 月 13 日 (2006.3.13)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

トランスポートフォーマットコンビネーションセレクションの対象となる第 1 チャネルのデータと前記トランスポートフォーマットコンビネーションセレクションの対象にならない第 2 チャネルのデータを多重して伝送する通信端末装置であって、

前記第 1 チャネル及び前記第 2 チャネルの総送信電力が前記通信端末装置にて送信可能な最大送信電力を超えないように前記第 1 チャネルのリソース及び前記第 2 チャネルのリソースを割り当てるリソース割当手段と、

前記リソース割当手段にて割り当てられた前記第 1 チャネルのリソースの範囲内で送信可能なトランスポートフォーマットコンビネーションを選択する T F C 選択手段と、を具備する通信端末装置。

【請求項 2】

前記リソース割当手段は、前記第 1 チャネルのリソースあるいは前記第 2 チャネルのリソースのいずれか一方を優先的に確保し、他方のチャネルのリソースを割り当てる請求項 1 記載の通信端末装置。

【請求項 3】

前記第 2 チャネルから送信される情報の有無を監視し、過去に前記第 2 チャネルから送信された情報の情報量を前記リソース割当手段に出力する送信状況モニタ手段を具備し、

前記リソース割当手段は、前記情報量に基づいて前記第 2 チャネルのリソースを割り当てる請求項 1 記載の通信端末装置。

【請求項 4】

送信状況モニタ手段は、所定の期間に対する前記第 2 チャネルから情報が送信された時間の割合である送信状況係数を算出し、送信状況係数を前記リソース割当手段に出力し、

前記リソース割当手段は、個別制御チャネルの送信電力に所定のオフセット値及び前記送信状況係数を乗算して前記第 2 チャネルのリソースを計算する請求項 3 記載の通信端末装置。

【請求項 5】

前記リソース割当手段は、トランスポートフォーマットコンビネーション毎に前記第 1

チャンネル及び前記第 2 チャンネルのリソースを割り当てる請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項 6】

前記第 2 チャンネルが複数存在する場合、前記リソース割当手段は、最初に前記第 2 チャンネルの所定のチャンネルについてリソースを確保し、前記所定のチャンネル以外のチャンネルについて、残ったリソースの割り当てを行う請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項 7】

リソース割当手段は、前記第 2 チャンネルから送信する情報の種類によって、前記第 1 チャンネルのリソースあるいは前記第 2 チャンネルのリソースのどちらを優先的に確保するかを選択する請求項 2 記載の通信端末装置。

【請求項 8】

リソース割当手段は、前記第 2 チャンネルから送信する情報が未来のスケジューリングに用いるものである場合、前記第 1 チャンネルのリソースを優先的に確保する請求項 7 記載の通信端末装置。

【請求項 9】

トランスポートフォーマットコンビネーションセレクションの対象となる第 1 チャンネルのデータと前記トランスポートフォーマットコンビネーションセレクションの対象にならない第 2 チャンネルのデータを多重して伝送する通信端末装置の送信電力制御方法であって、

前記第 1 チャンネル及び前記第 2 チャンネルの総送信電力が前記通信端末装置にて送信可能な最大送信電力を超えないように前記第 1 チャンネルのリソース及び前記第 2 チャンネルのリソースを割り当てる工程と、

前記割り当てられたリソースの範囲内で前記第 1 チャンネルの送信電力及び前記第 2 チャンネルの送信電力を制御する工程と、を具備する通信端末装置の送信電力制御方法。

【請求項 10】

前記リソースを割り当てる工程は、前記第 1 チャンネルのリソースあるいは前記第 2 チャンネルのリソースのいずれか一方を優先的に確保し、他方のチャンネルのリソースを割り当てる請求項 9 記載の通信端末装置の送信電力制御方法。

【請求項 11】

前記第 2 チャンネルが複数存在する場合、前記リソースを割り当てる工程は、最初に前記第 2 チャンネルの所定のチャンネルについてリソースを確保し、前記所定のチャンネル以外のチャンネルについて、残ったリソースの割り当てを行う請求項 9 または請求項 10 に記載の通信端末装置の送信電力制御方法。